



一般社団法人
日本胡麻協会
Japan Sesame Association

広げよう
ごま
で
幸
せ
づ
く
り



日本胡麻協会 会報

【第19号 2017年12月1日発行】



〒604-0845

京都市中京区烏丸御池上る 二条殿町546

NT都ビル9階 わだまんサイエンス内

TEL: 075-222-7318 / FAX: 075-222-0318



岡崎 実豆季

初めまして、岡山県在住の岡崎と申します。

私は、母が買ってきたごま福堂の「杵つき金ごま」を食べたのがきっかけで、「ごまの専門店 ふかほり」を知りました。

初めて袋を開けた時の衝撃と感動は忘れられません。

ふわっと優しく、香ばしいごまの香りとプチプチとした食感がたまらず、これは何にかけても美味しいだろうと思いました。

卵かけごはんにかつお節と一緒にかけてみたり、シフォンケーキにたっぷり入れてみたり、今まででは考えられないくらいごまを使っていました。

たまたま縁があり、岡山の催事に来られていた深堀社長の胡麻を試食させて頂いた時は、味の違いに驚きました。

「感動」の一言しか出ないくらいで、味や香り、食感も全く違い、とても美味しかったのを覚えています。

セサミマイスターの皆様が丁寧に作った胡麻は、その方の人柄がそのまま胡麻に出ていて、食べると笑顔で試食をくれた顔が浮かびます。

そんな素敵な胡麻を使い、料理やお菓子を作れることが嬉しい日々で、素敵なお縁に恵まれたことに本当に感謝です。

これからも胡麻を使ったお菓子などでこの感動を伝えて行ければいいなと思っています。

皆さん初めまして。船橋市にありますロンの家で働いております、西村と申します。

仕事は障がい者の方の移動支援（余暇活動）や地域活動支援センター（Café すまいる）で障がい者の方とご一緒に胡麻の製造に係るお手伝いです。

以前、すまいるに行くと胡麻を搗く音とともに良い香りがしてとても爽やかに感じていました。

最初ロンの家ではヘルパーとして障がい者の方の移動支援をさせて頂いていましたが、平成 27 年の夏、スタッフの勧めと励ましですまいる（作業所）での障がい者の方と胡麻の仕事をさせて頂くことになりました。

初めは衛生面のこと、ボトルや袋詰めの際の計量にとっても気を使いなかなか上手く出来ませんでした。最初にご一緒させて頂いた H さんは 7 の数字がとても好きな方で計量は完璧なのですが、一生懸命夢中になったあまり 83 グラムのところをいつの間にか大好きな数字 77 グラムになっていました。

「H さん 77 グラムになっていますよ」と声をかけると「はい」と言って 83 グラムに直してくれます。

失敗も繰り返しながら、段々と人に惹かれ、胡麻に惹かれて楽しい毎日を過ごさせて頂いていました。そんな中、平成 28 年セサミマイスターの講習会に参加させて頂きました。試験があるのでは・・・無理だとお話したところ、理事長、スタッフのご指導と励ましの中、どうにか無事に合格。

今までごく自然に食べていた胡麻にはコラーゲンがたっぷり含まれていること、

肝機能を元気にしたり、血液をサラサラにする、コレステロールを下げるなど体に良いものが沢山含まれていることを改めて知ることができました。それからは作業の前には気持ちを落ち着かせ心を込めて胡麻を搗くように心掛けていますが、「美味しいかな」「味はどうだろうか」と考えると自信が無くなりその都度理事長、スタッフから「大丈夫、おいしい」の言葉を励みに頑張っているところです。

支援センターに通われている方々と一緒に胡麻詰めやボトル、袋のシール貼りなどをする作業も多くあります。シール貼りが丁寧で上手な方、マスキングテープ作りが正確で上手な方、またお話しが上手な方など、和やかな雰囲気の中一生懸命なその姿に元気と勇気を頂き、楽しく作業を行っています。これも胡麻のご縁の御蔭様で大勢の方と出会い仲良く仕事ができる事の幸せに感謝をしています。

微力ながらセサミマイスターの役割を忘れずに、人を愛し、胡麻を愛し、日々反省と感謝、皆様の幸福を願い今日も美味しい胡麻が提供出来るように頑張りたいと思います。

胡麻と私

高木梨恵

今年の1月のセサミマイスター講習会に参加してから胡麻への思いが変わったように感じます。それまでは脇役というか、意識せずそのまま使われるものでした。

しかし、胡麻の生命の大切さや、小さな粒に秘めたるエネルギーを知り、胡麻も1つの大いなる食材となりました。

また、食べる自分自身も味を感じる事でセルフカウンセリングをするようになりました。生きる事、生命、生活は繋がっているのだなぁと胡麻の小さな一粒に教えて貰っているようです。

これからも感謝の気持ちを大切に、胡麻を美味しく頂ける毎日、素晴らしく幸せな毎日を過ごしていきたいです。

胡麻が運んできた小さな幸せ

川端尚美

セサミマイスターになって、まだ1年経たない私ですがここで少し身の回りに起きた小さな変化を振り返ってみようと思います。

まず、家族や親戚、友人たちの間で胡麻の話題が出るようになりました。プレゼントしたり、健康について話したり、レシピを教えあったり。

そして、我が家の食卓も少し変わりました。

息子はシンプルなものが好きなのか、うどんはかけうどん、お茶漬もお茶のみ、ほうれん草にもポン酢をかけるだけで食べていました。

ある日、その日つきたての胡麻をいただいたので、ほうれん草の胡麻和えを作ってみました。今まで胡麻をかけるのを嫌がっていたのですが、その日は完食。僕、これ好き！と。

その日から、体にいいものを食べてくれることが嬉しくて、ほうれん草の胡麻和えは我が家の食卓ではヘビーローテーションとなりました。

次にきゅうりの酢の物。これもクリア。

なんだか楽しくなってきた、その次には白菜のサラダを作ってみました。

茹でて固く絞って白菜にポン酢とマヨネーズ、鰹節、そして、大量の金のつきたて胡麻。たくさん胡麻を入れても、大好きと食べてくれるようになり、どんどん、新しいレシピにもチャレンジしていこうと思うようになりました。

私が胡麻を通じて幸せを感じたこの1年の変化です。

どうぞ、すべての皆様の食卓にもつきたてのごまの香りが幸せを運んでくれますように。

金田光成

皆様はじめして、

10月12日よりセサミマイスターになりました金田光成と申します。

簡単に自己紹介をさせていただきます。

昭和49年生まれの43歳。生まれは京都伏見、実家は滋賀大津です。

大学卒業後、長年アパレル業界で務めていましたが、和菓子店勤務経由で、縁あって今月から、わだまんサイエンスの仲間入りをさせていただきました。

前職の時、ご挨拶と打合せの為、わだまんサイエンス本社に訪問した際、打合せも程々に約3時間、深堀社長から「胡麻で世界平和」のお話を聞きました。

【胡麻】に対して熱すぎる情熱を注がれる深堀社長に、圧倒されました。

「すごいパワーだなあ、大きな夢だなあ」と思った事を今も覚えています。

自分がここにいる事は、あの時すでに決まっていた運命だったと思います。

これから、催事を通して私も「胡麻で世界平和」目指していきます。

まずは、【胡麻】を搗きながら販売し、【胡麻】の素晴らしさを一人でも多くの人に伝えていきます。

皆様よろしくお願いたします。